

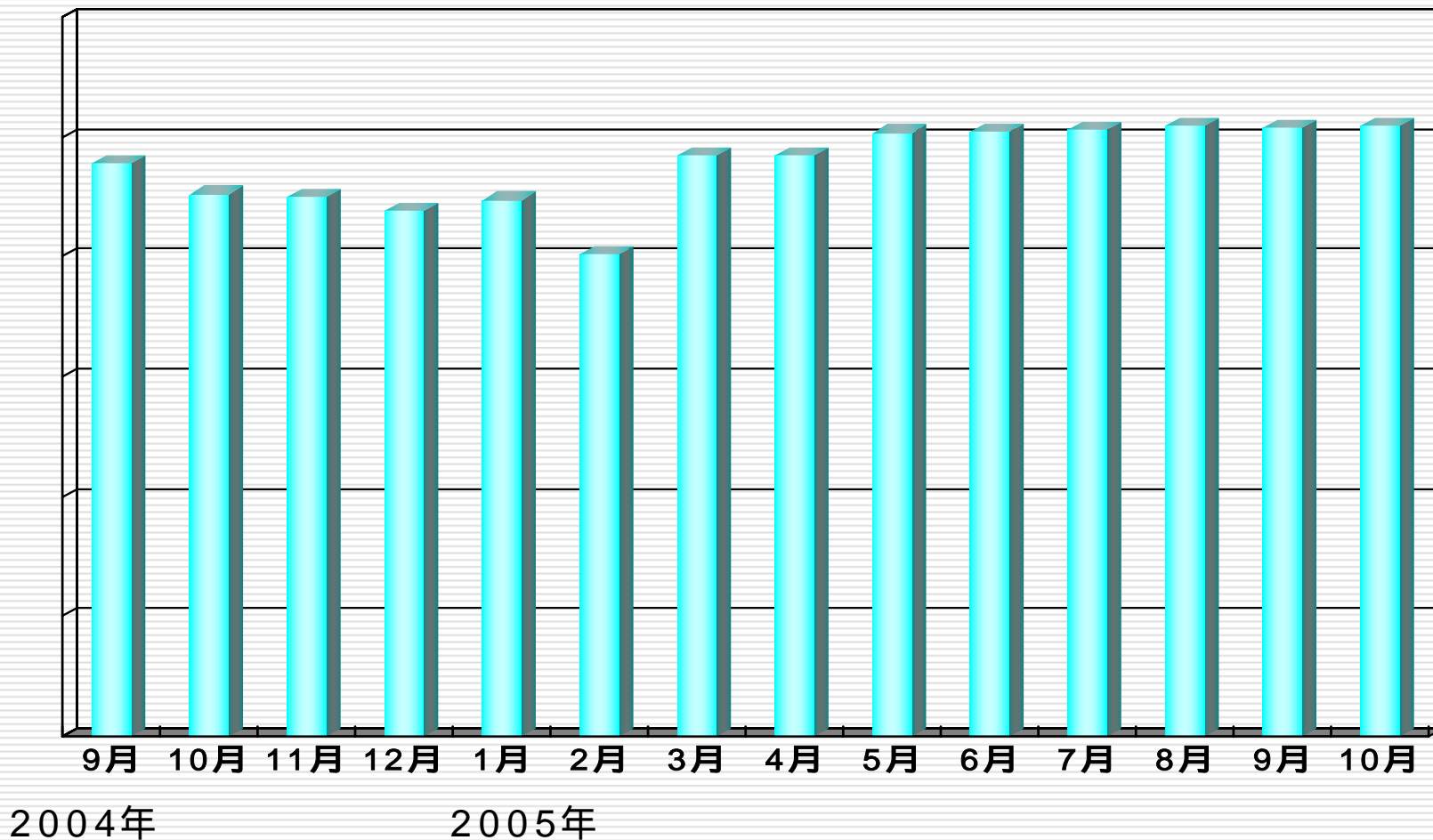
平成18年3月期 中間決算説明会資料

2005年11月30日(水)

岡谷電機産業株式会社

～ 製造業の信頼をガードする岡谷電機産業～

受注推移 (2004年9月から2005年10月まで)



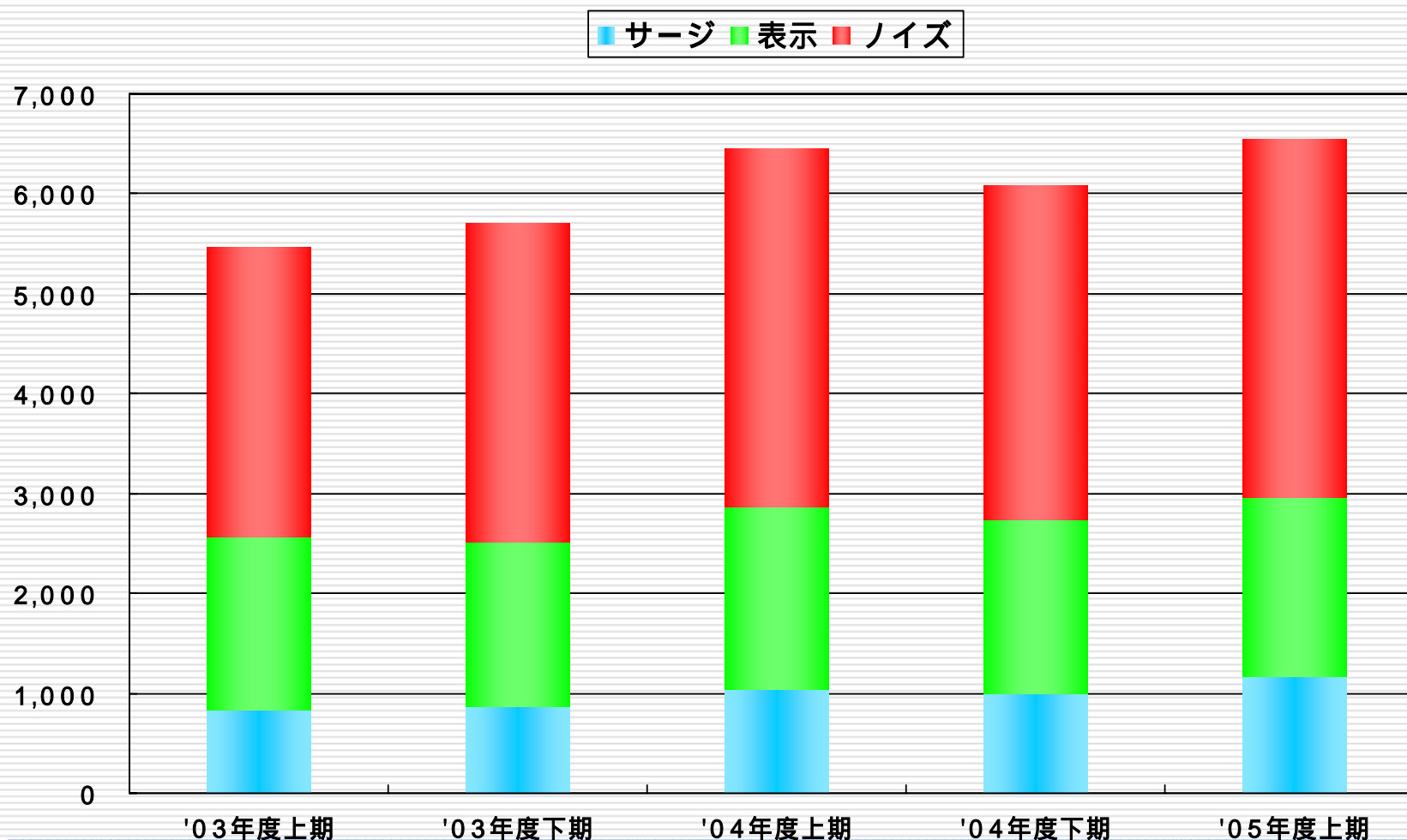
損益計算書の概要（連結）

（単位：百万円、％）

	04年度				05年度		前年同期比	
	上期	構成比	下期	構成比	上期	構成比	金額	増減比
売上高	6,455	100.0	6,080	100.0	6,546	100.0	91	101.4
ノイズ	3,592	55.6	3,344	55.0	3,583	54.7	-8	99.7
表示	1,823	28.2	1,743	28.6	1,800	27.5	-22	98.7
サージ	1,040	16.1	992	16.3	1,162	17.8	122	111.7
売上総利益	1,745	27.0	1,465	24.0	1,719	26.3	-26	98.5
営業利益	752	11.6	418	6.8	651	10.0	-101	86.5
経常利益	757	11.7	464	7.6	698	10.7	-58	92.2
当期純利益	447	6.9	339	5.5	424	6.5	-23	94.8
設備投資額	178		407		261		82	146.6
減価償却費	265		298		276		11	104.1

関連製品別売上高推移（連結）

（単位：百万円）



上期の概況

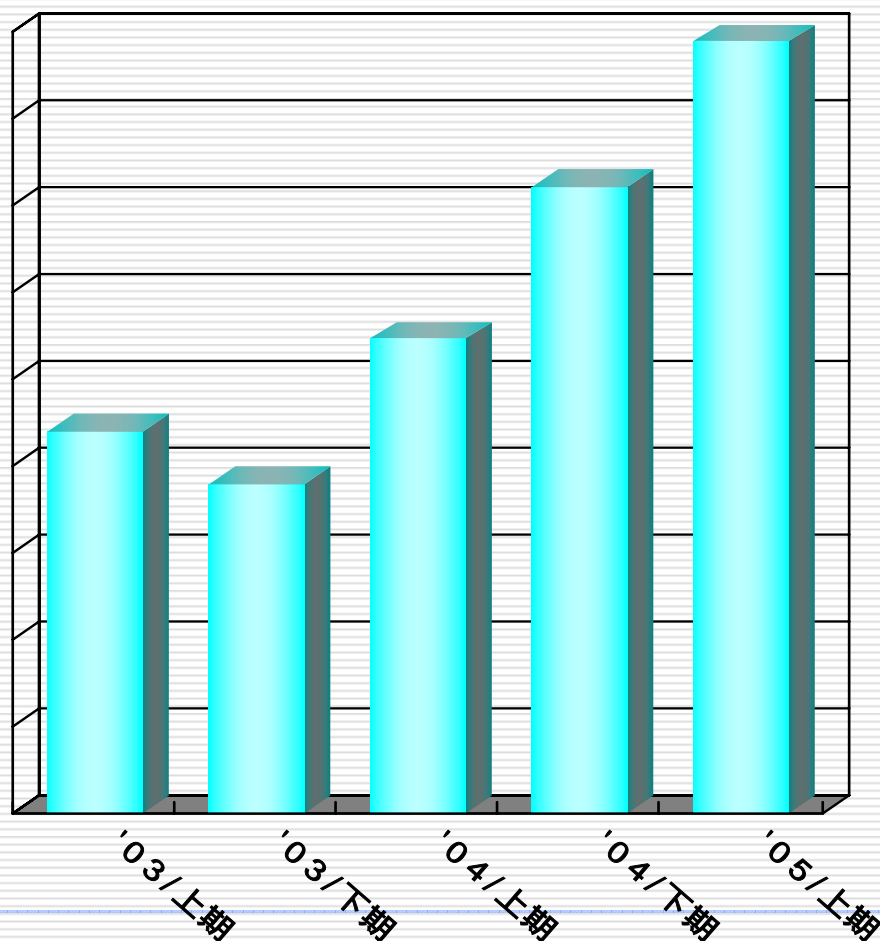
売上高

- アジア地域を中心にデジタル製品の需要増
- デジタル放送関係の需要増
- 建物及び設備の雷サージ対策の需要増

営業利益

- 下期以降に戦力となる新製品のための積極的な技術開発投資の実施
- 生産マップの詳細な見直しと継続的な改善によるコストアップの吸収

技術開発費用の推移



ノイズ・サージ関係

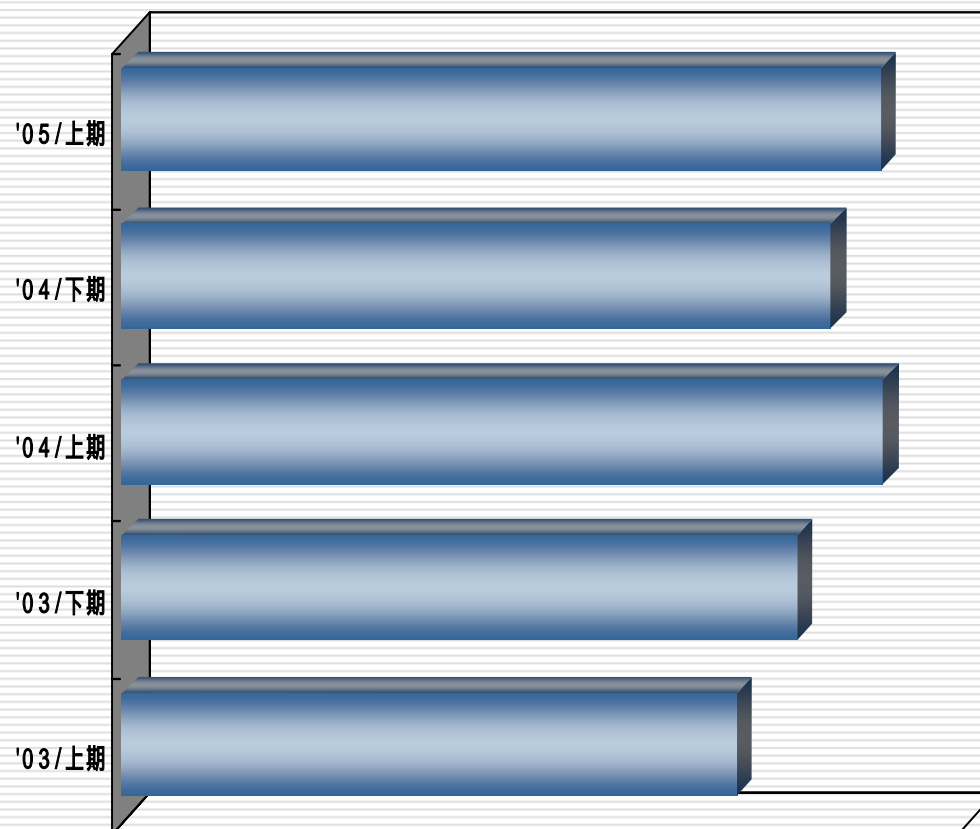
小型化を実現するための技術開発や基礎技術を他用途へ展開する商品開発を行う。

表示関係

PDPや照明分野への応用を視野に入れたLED商品の開発を行う。

積極的な研究開発を継続し、
更なる飛躍を目指す。

ノイズ事業の業績

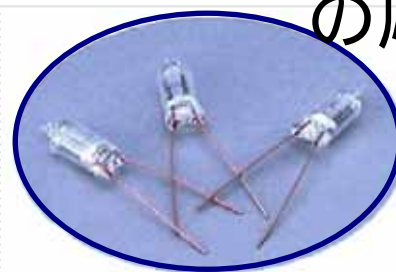


- 産業機器向け需要が横ばいであつたのに対し、パソコン・デジタル家電向けの需要が増加
- 生産数量が伸びたものの、売上高は横ばい
- 生産マップの見直し等、コスト削減を行なうことにより、原油・金属材料価格の影響を吸収

ノイズ事業の概要



- ノイズ対策コンデンサ機能・性能を向上させた新シリーズを投入
- インレット型のノイズフィルタの小型・低コスト化
- コンデンサの自動車への応用展開



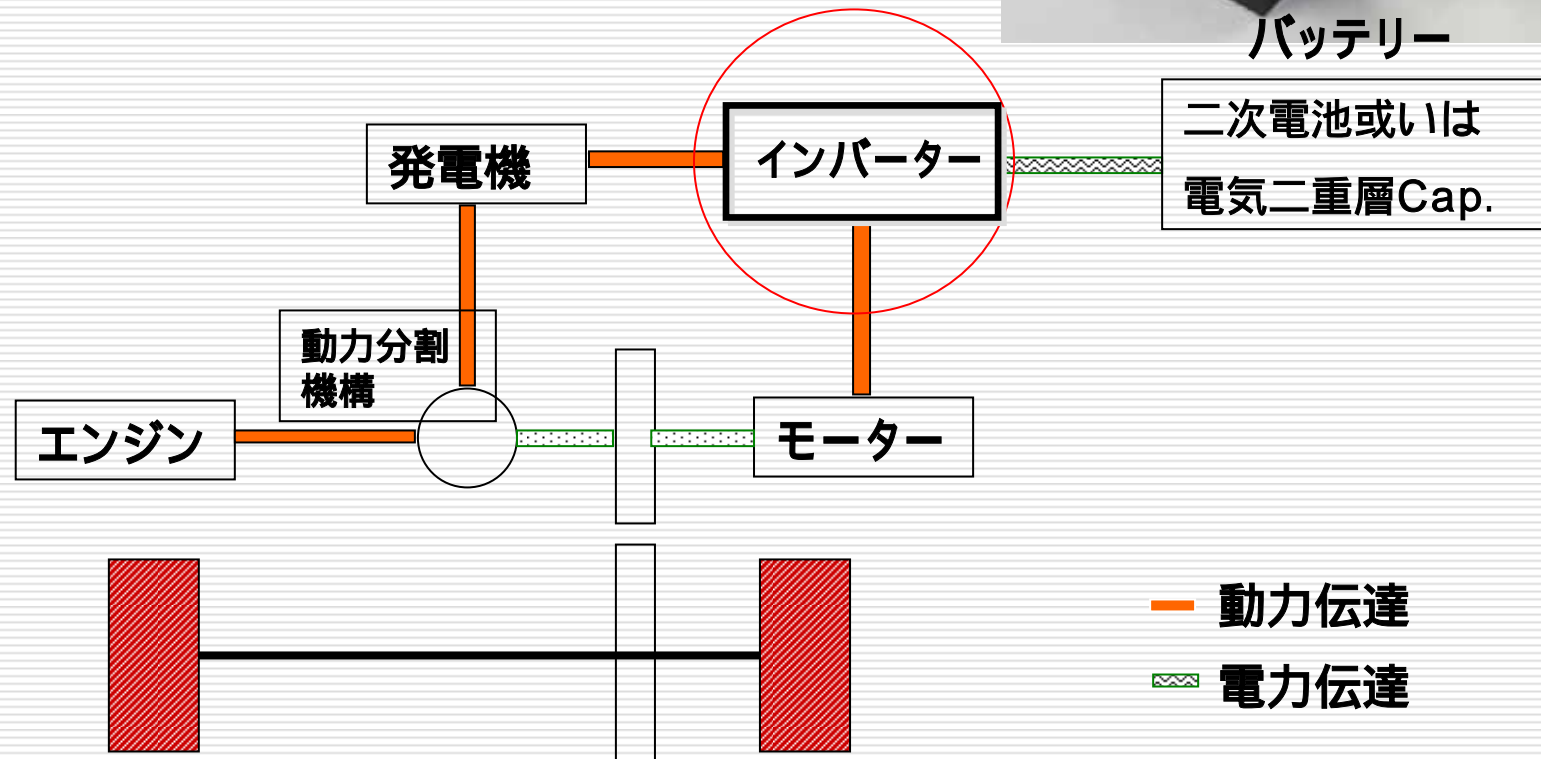
自動車関連での用途

大容量キャパシタは自動車のインバーター用、line-DCフィルタ等の用途に使われている

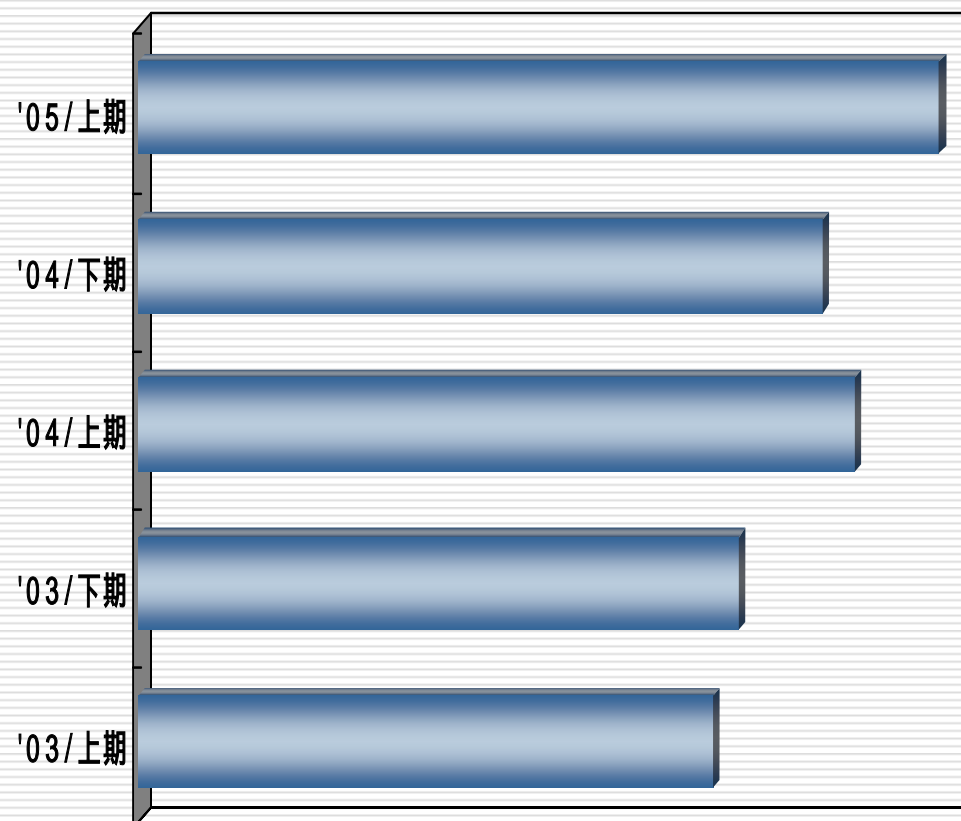


バッテリー

二次電池或いは
電気二重層Cap.



サージ事業の業績



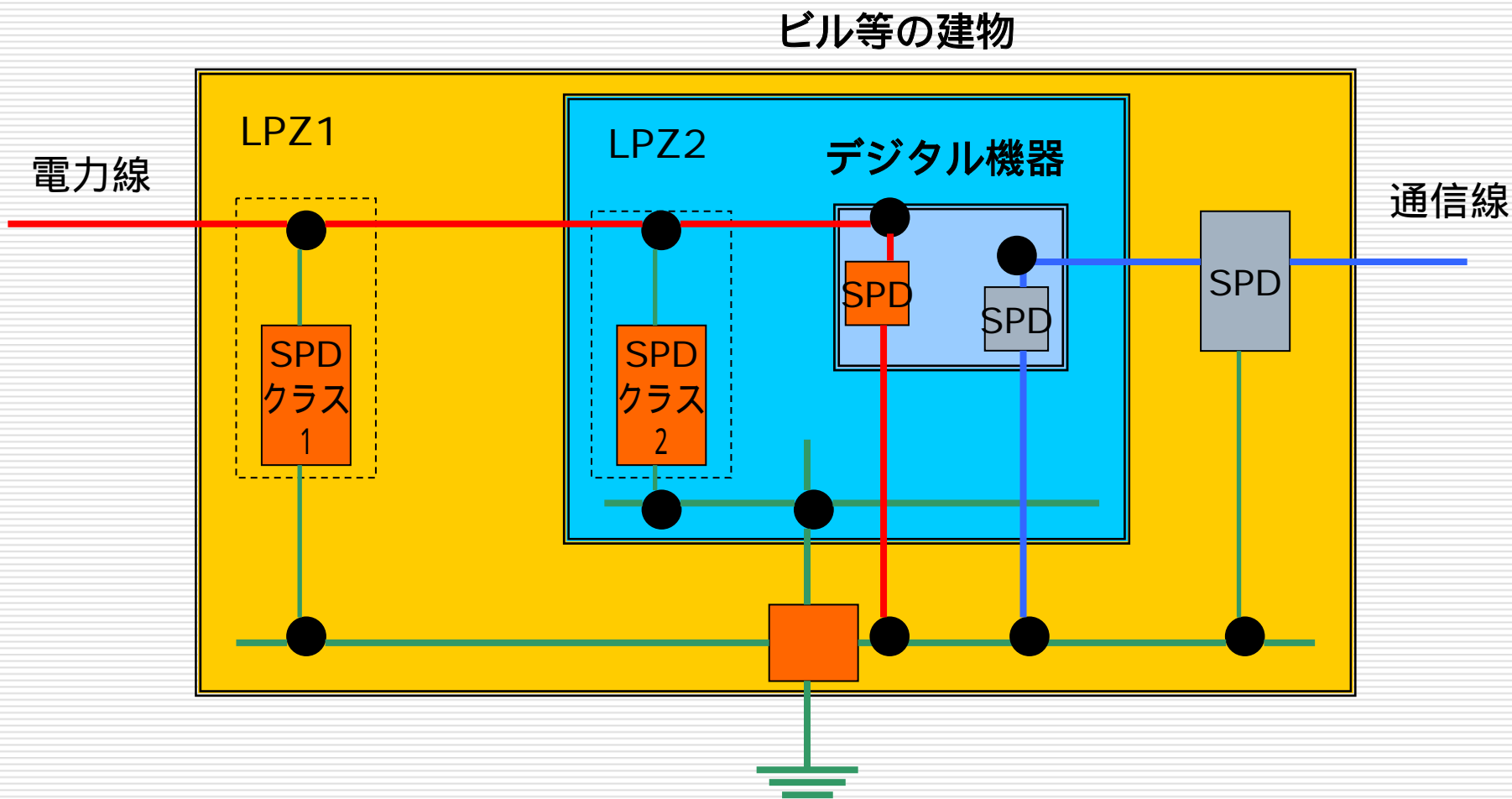
- ビル等の建築物に対する雷対策用への事業展開を図る
- 通信分野、エアコン、車載用機器、OA機器、産業機械、建設などの業界において需要堅調
- 生産マップの最適化により、原価率の好転

サージ事業の概要

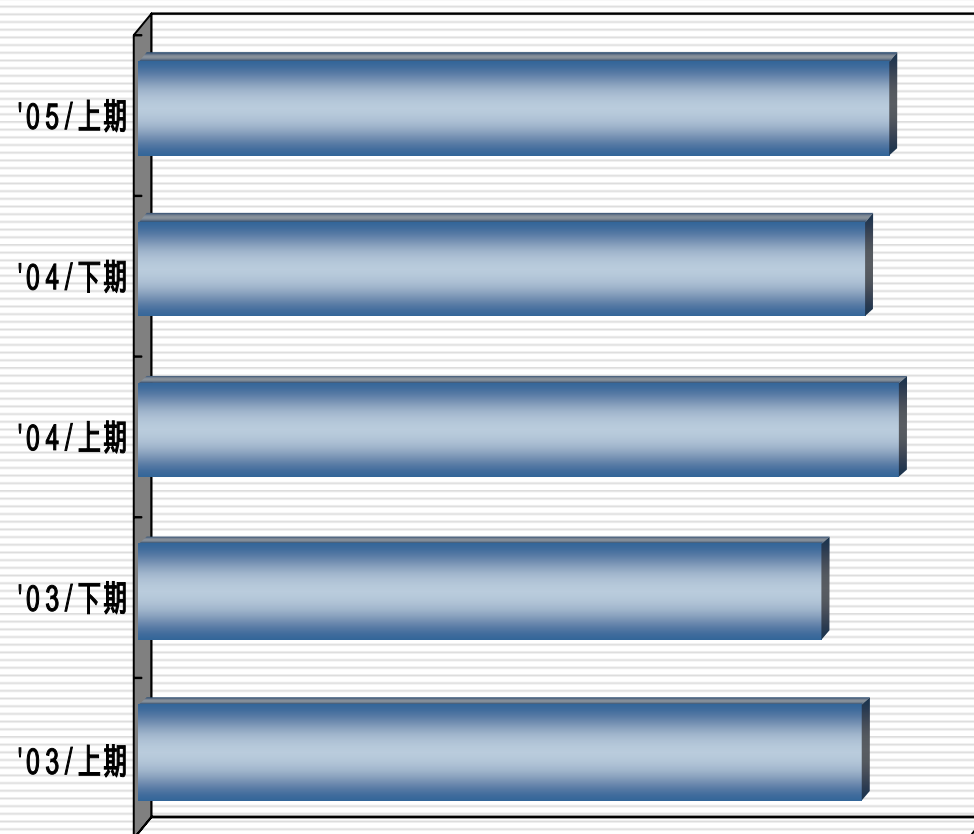


- 表面実装型誘導雷防護素子の小型化・品揃えシリーズ化を開発
- 建築物の雷防護対策製品の開発

サージ製品の使用用途



表示事業の業績



- LCDは業界全般にわたって需要が継続し、売上増
- モノクロPDP、ブランケットランプなど旧来の製品の需要が減退
- 下期以降に戦力となる交通関連への新製品開発の実施により原価率6%増

表示事業の業績



- 交通関連へ特化
 - 自動車用ブレーキランプ、扉開閉警告灯、庫内灯
 - 電車内の行先表示板
 - 電車内の広告表示装置
- 高輝度LEDランプの応用製品開発

表示製品の使用用途



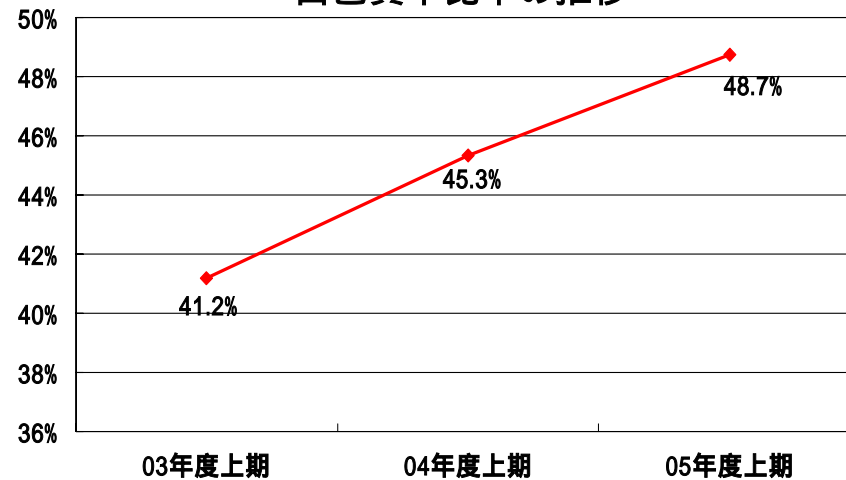
貸借対照表の概要（連結）

（単位：百万円）

	04年度上期		04年度通期		05年度上期		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
現金および預金	568	4.8%	244	2.1%	437	3.5%	131
売上債権	3,955	33.3%	3,564	30.7%	3,765	30.5%	190
棚卸資産	1,613	13.6%	1,453	12.5%	1,560	12.7%	53
その他流動資産	398	3.3%	243	2.1%	428	3.5%	30
流動資産計	6,535	55.0%	5,505	47.4%	6,192	50.2%	343
有形固定資産	3,757	31.6%	3,383	29.1%	3,432	27.8%	325
無形固定資産	26	0.2%	23	0.2%	22	0.2%	4
投資その他資産	1,567	13.2%	2,698	23.2%	2,682	21.8%	1,115
固定資産計	5,351	45.0%	6,105	52.6%	6,137	49.8%	786
資産合計	11,887	100.0%	11,610	100.0%	12,330	100.0%	443
買入債務	1,414	11.9%	1,215	10.5%	1,439	11.7%	25
短期借入金	2,786	23.4%	2,377	20.5%	2,664	21.6%	122
その他流動負債	731	6.1%	933	8.0%	1,021	8.3%	290
流動負債計	4,931	41.5%	4,526	39.0%	5,124	41.6%	193
長期借入金	359	3.0%	337	2.9%	224	1.8%	135
その他固定負債	1,209	10.2%	977	8.4%	971	7.9%	238
固定負債計	1,568	13.2%	1,315	11.3%	1,196	9.7%	372
負債合計	6,500	54.7%	5,842	50.3%	6,321	51.3%	179
利益剰余金	607	5.1%	1,092	9.4%	1,343	10.9%	736
資本合計	5,387	45.3%	5,768	49.7%	6,008	48.7%	621

注：増減項目は、04年度上期と05年度上期を比較した数値

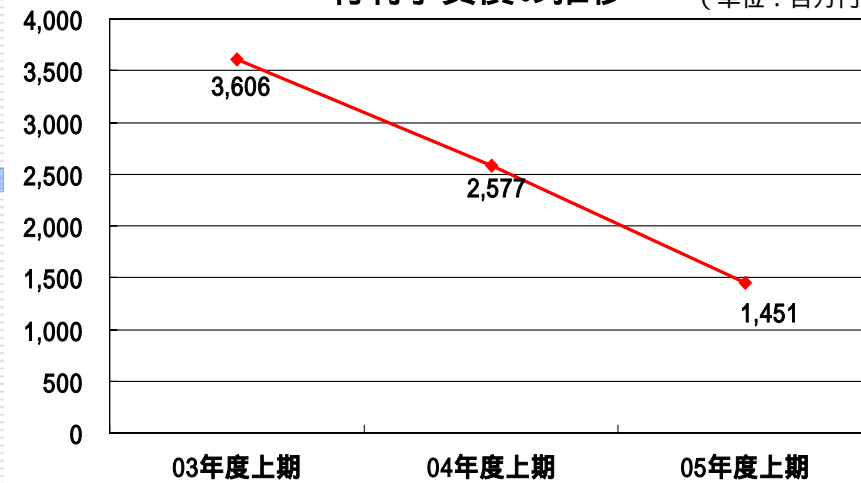
自己資本比率の推移



* 資本合計(B/S) ÷ 資産合計 (B/S)

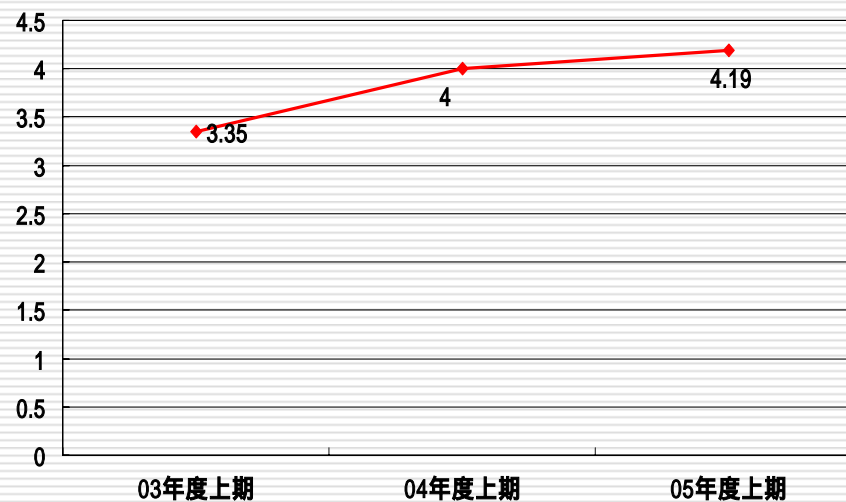
有利子負債の推移

(単位：百万円)



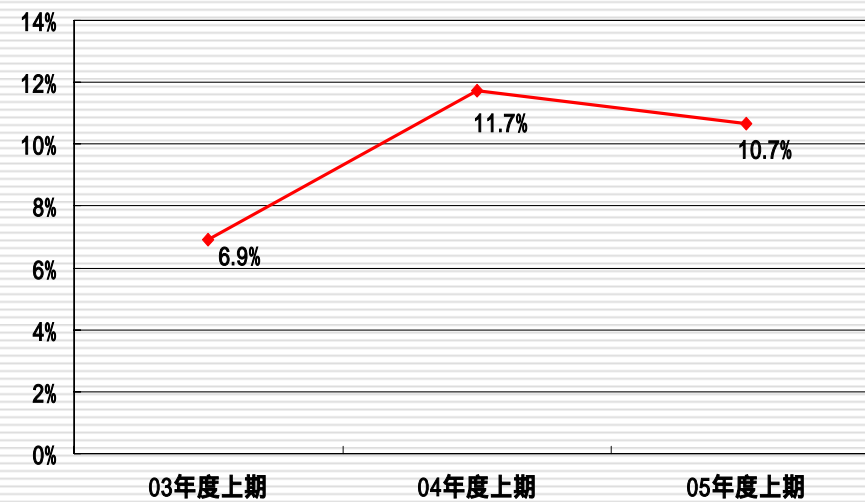
* (短期借入金+長期借入金) (B/S) - (現金及び預金+長期性預金) (B/S)

棚卸資産回転率の推移



* 半期売上高(P/L) ÷ たな卸資産(B/S)

経常利益率の推移



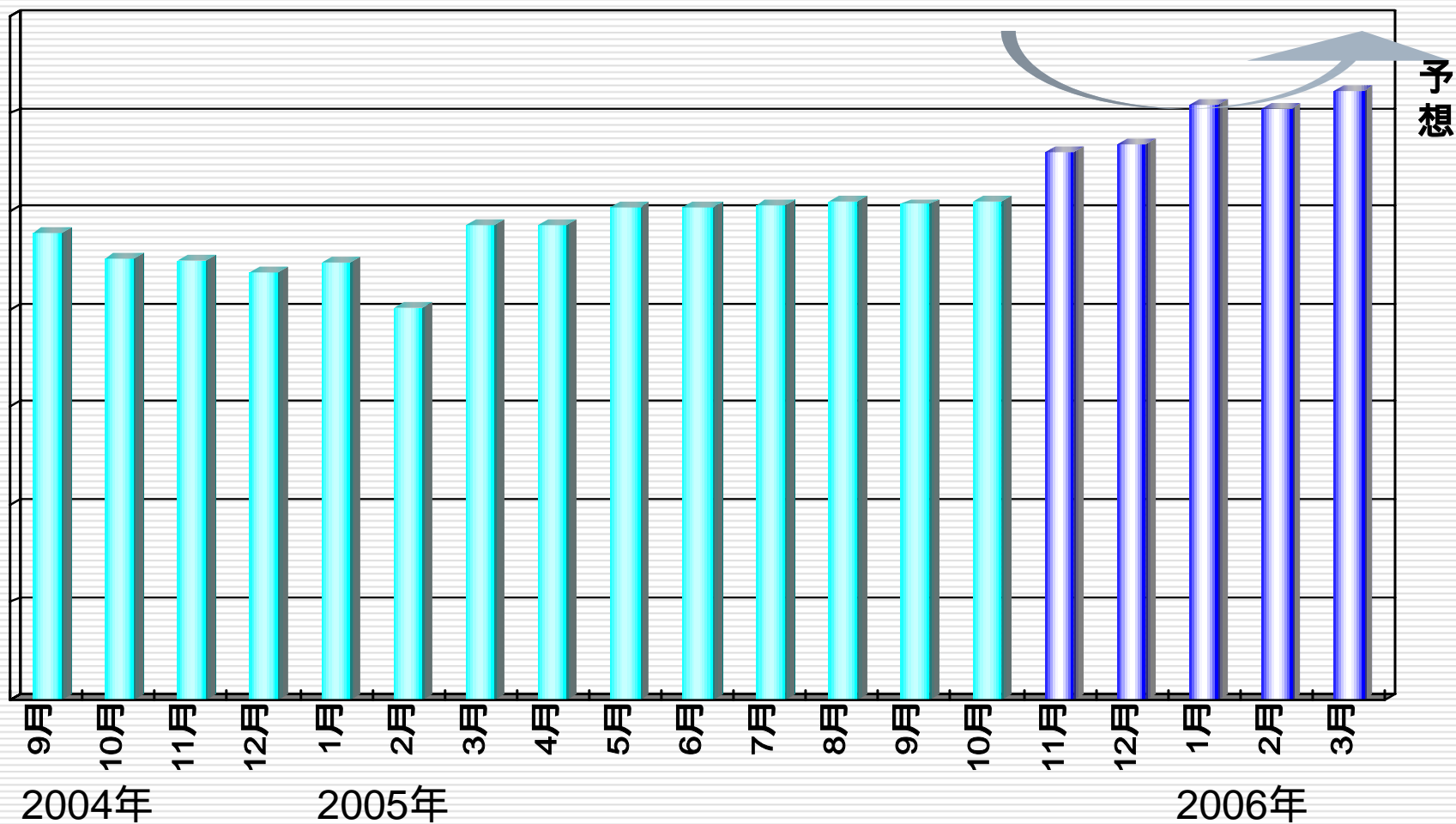
* 経常利益(P/L) ÷ 売上高(P/L)

今期業績見通し（連結）

（単位：百万円、％）

	04年度	構成比	05年度	構成比	前期比
売上高	12,535	100.0	13,800	100.0	110.0
ノイズ	6,936	55.3	7,314	53.0	105.4
表示	3,566	28.4	4,140	30.0	116.0
サージ	2,032	16.2	2,346	17.0	115.4
経常利益	1,221	9.7	1,350	9.7	110.5
当期純利益	787	6.3	750	5.4	95.2
設備投資額	586		770		131.3
減価償却費	564		600		106.3

受注推移とその予測



事業環境予想

プラス要因

- 堅調な薄型テレビの需要
- 中国、アジアでのノートパソコンの堅調な需要
- 携帯電話、通信での活発な需要継続
- 建築物における雷サージ規制の強化
- クリーンな環境、省エネルギー、安全性への関心の高まり

懸念事項

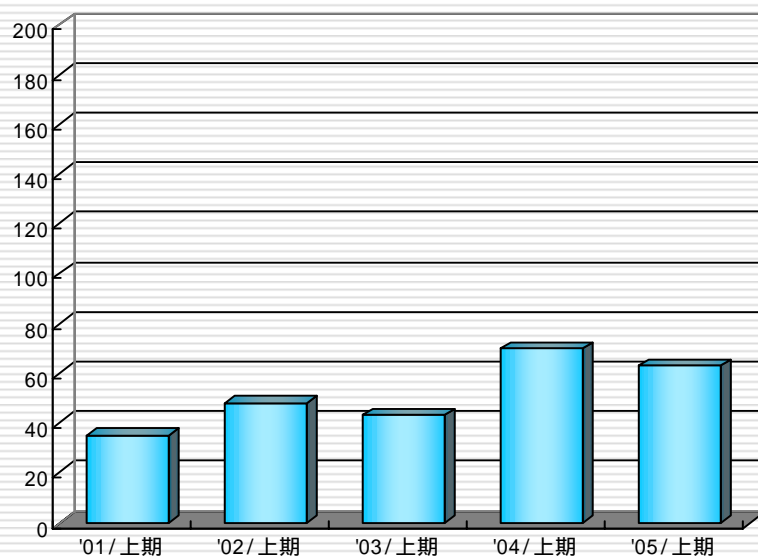
- 石油、金属材料の価格動向
- 環境負荷物質規制の動向
- 売価の動向

海外向け売上高の推移

□ 欧州

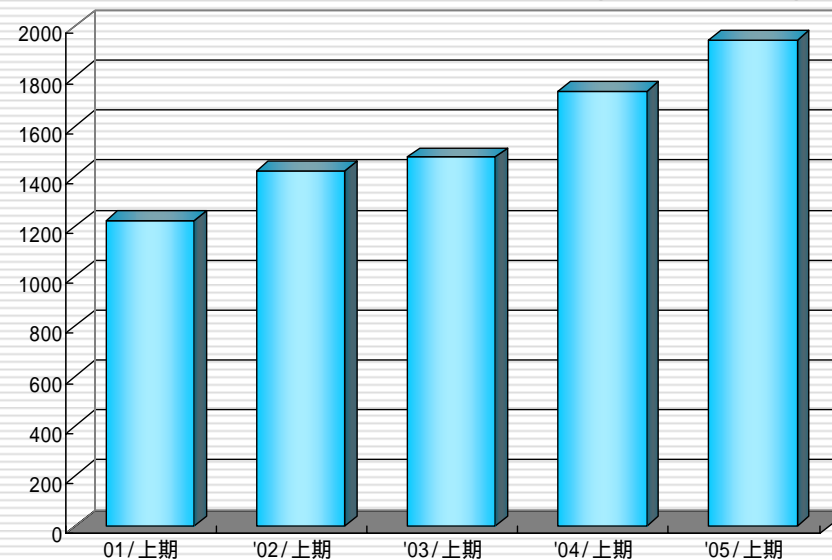
- 欧州向けは欧州メーカーのアジアシフトにより、やや減少

(単位：百万円)



□ アジア

- デジタル商品の需要増とEJメーカーも含めた、メーカーの中国・アジアシフトにより売上高増 (単位：百万円)



損益計算書の概要（単独）

（単位：百万円、％）

	04年度				05年度		前年同期比	
	上期	構成比	下期	構成比	上期	構成比	金額	増減比
売上高	5,889	100.0	5,426	100.0	5,898	100.0	9	100.1
ノイズ	3,445	58.4	3,128	57.6	3,386	57.4	-59	98.2
表示	1,436	24.3	1,382	25.4	1,405	23.8	-31	97.8
サージ	1,007	17.1	916	16.8	1,106	18.7	+99	109.8
売上総利益	1,322	22.4	1,176	21.6	1,203	20.3	-119	90.9
営業利益	669	11.3	450	8.2	493	8.3	-176	73.6
経常利益	694	11.7	440	8.1	557	9.4	-137	80.2
当期純利益	402	6.8	308	5.6	346	5.8	-56	86.0

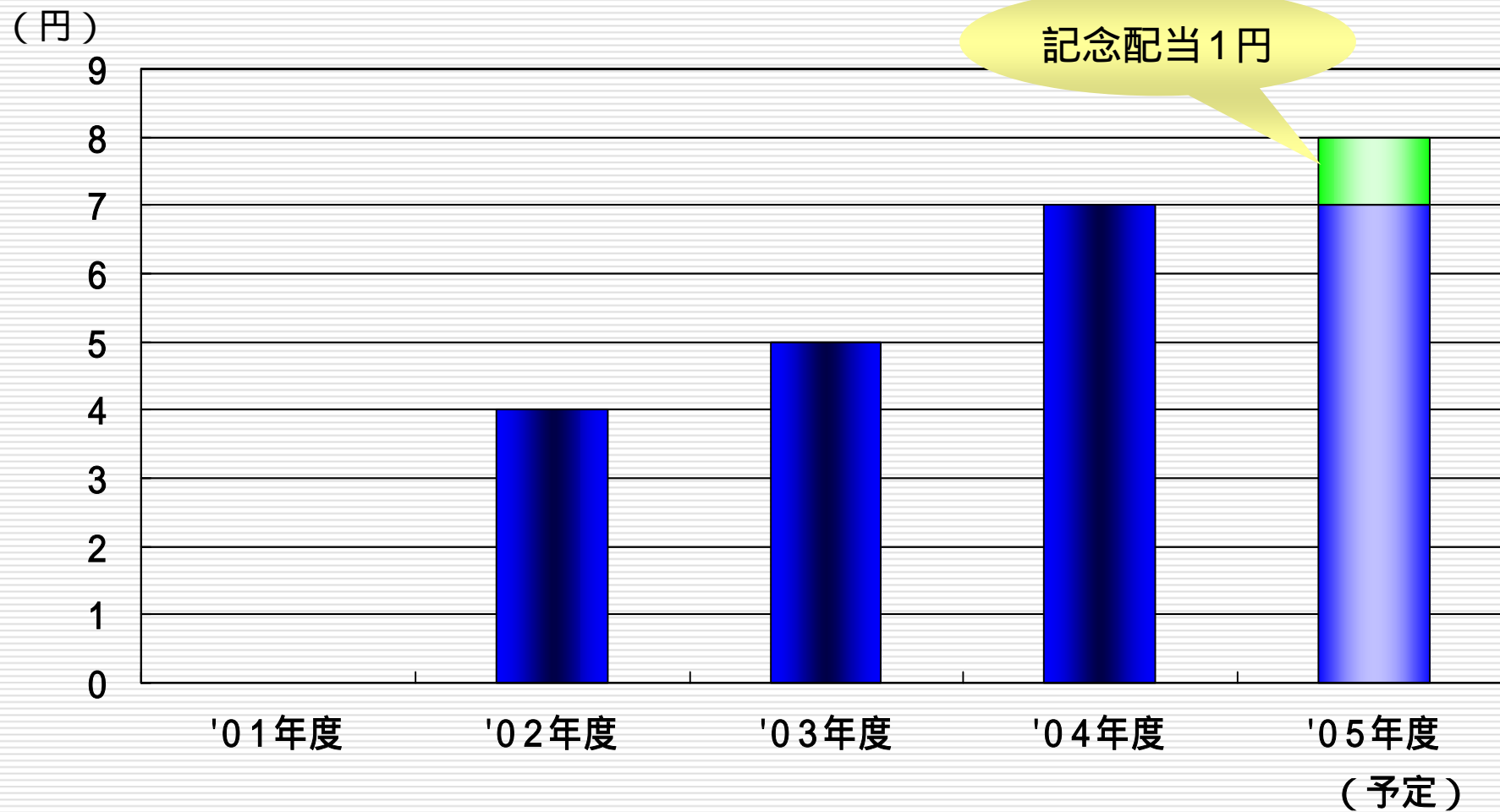
貸借対照表の概要（単独）

（単位：百万円）

	04年度上期		04年度通期		05年度上期		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
現金および預金	373	3.6%	143	1.4%	222	2.0%	151
売上債権	3,921	38.3%	3,482	34.6%	3,718	34.2%	203
棚卸資産	516	5.0%	646	6.4%	689	6.3%	173
その他流動資産	809	7.9%	462	4.6%	872	8.0%	63
流動資産計	5,621	54.9%	4,735	47.0%	5,502	50.6%	119
有形固定資産	2,533	24.7%	2,199	21.8%	2,193	20.2%	340
無形固定資産	24	0.2%	21	0.2%	19	0.2%	5
投資その他資産	2,062	20.1%	3,119	31.0%	3,147	29.0%	1,085
固定資産計	4,620	45.1%	5,340	53.0%	5,361	49.4%	741
資産合計	10,242	100.0%	10,075	100.0%	10,863	100.0%	621
買入債務	2,167	21.2%	1,758	17.4%	2,084	19.2%	83
短期借入金	824	8.0%	616	6.1%	963	8.9%	139
その他流動負債	513	5.0%	703	7.0%	726	6.7%	213
流動負債計	3,506	34.2%	3,077	30.5%	3,774	34.7%	268
長期借入金	196	1.9%	260	2.6%	173	1.6%	23
その他固定負債	1,196	11.7%	963	9.6%	957	8.8%	239
固定負債計	1,392	13.6%	1,224	12.1%	1,131	10.4%	261
負債合計	4,899	47.8%	4,302	42.7%	4,905	45.2%	6
利益剰余金	591	5.8%	1,044	10.4%	1,216	11.2%	625
資本合計	5,342	52.2%	5,773	57.3%	5,958	54.8%	616

注：増減項目は、04年度上期と05年度上期を比較した数値

配当の推移



第6次中期経営計画の進捗状況

- 今年度 = 投資の年度
- 建設関係等、異業種とのコラボレーションによる新規開拓
- 製品の選択と集中の実施
- マーケティング要員も含めた営業要員の充実・強化
- 技術開発要員の充実・強化
- 物流を含めた総コスト削減の実施

ご清聴ありがとうございました。

- ご質問等のお問合せは以下にお願いします。

IR窓口

管理本部 総務グループ

丸岡 滋

mail: maruoka@okayaelec.co.jp

電話 03-4544-7000

なお、本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が、様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。